

第1節 人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

2 男女共同参画社会

～男性と女性が家庭、職場、社会などで互いに協力しながら、同等に参画できるまち

<A 基本計画の目標>

男女が社会のあらゆる分野に同等に参画でき、かつ責任を分かち合う社会の実現をめざします。
 女性に対する相談・自立支援の充実をめざします。
 男女がともに自立し、支え合う地域社会の実現をめざします。
 市民、事業者、行政が連携しながら、男女の多様な生き方の実現をめざします。
 生涯を通じて男女共同参画社会の理解と学習を進めます。

<B 目標指標：市民意識調査による市民の満足度>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	トレンド
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状況について、市民が実感している割合	50.1 %	49.3 %	57.3 %	53.9 %	58.6 %	↗

<C 目標達成に向けた22年度の実績と自己評価>

自己評価

【市民経済部】

※この分野の目標達成のために取り組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント) 平成19年2月に制定された鎌倉市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた様々な事業に取り組むとともに、各課から報告された施策の進捗状況について、「鎌倉市人権・男女共同参画推進連絡会」で評価し、課題の検討などをするとともに、「鎌倉市男女共同参画推進委員会」に報告を行いました。	◎
※この分野の目標達成のために取り組んできた事業の実績(前年度事業及び実施計画事業を中心にコメント) 市民ネットワーク「アンサンブル21」と協働で、男女共同参画フォーラムやセミナーの開催、情報誌「パスポート」の発行、女性史第4集発行に向けての編さん作業などを行いました。また、家族について考えると題して、DVの実態を知る研修を市民及び職員を対象に行いました。	◎

前年度当初目標に対し、◎＝80%以上○＝50%以上△＝30%以上×＝30%未満

<D 前回の市民評価委員会などからの指摘への対応状況>

市民評価委員会などからの指摘

指摘等に対する改善策・対応など

【市民経済部】

・男女共同参画施策推進委員会の議事録がWEB上で平成20年度以前のを閲覧出来ない状況である。透明性の確保し、説明責任を果たすためにも、閲覧出来るよう対処していただきたい。	⇒	閲覧できるよう対応しました。
---	---	----------------

<E 22年度未達成事業の課題・問題点など>

【市民経済部】

社会情勢が変化していく中で、発信する情報の内容も変わってきます。また、市民の意識啓発には時間を要します。限られた予算の中で、他部署の事業を活用するなど情報発信の機会を的確に捉えるとともに、その機会を最大限に活かす必要がありますが、22年度のフォーラムやセミナーの集客は目標数に達することができませんでした。今後は集客を高める工夫と、情報発信の機会をより多く捉えることが課題となります。

※未達成の理由<支障となった理由>

市民の関心や興味を的確に把握できなかったこと、効果的なPRが不足したこと。

<F 今後の展開(取組方針)>

【市民経済部】

社会情勢、経済情勢が急激に変化する中で、困難や生きづらさを抱える人たちの状況も多様化、複雑化しています。誰もが自立し、支え合う社会の実現を目指す条例の理念を周知するため、啓発の方法をさらに工夫し、一人でも多くの人の気づきを促すよう努めます。

市民向け、職員向けの研修をさらに充実させるとともに、市民ネットワーク「アンサンブル21」との協働に努め、市民同士の情報交換等による意識の浸透を深めます。

<G 実績指標:事業ごとの進捗を示す代表的な指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H19	H20	H21	H22	H22年度 目標値	H27年度 目標値
審議会等への女性委員の登用率(+)	市に設置された各種審議会の委員総数に占める女性委員の割合	21.4 %	23.0 %	24.3 %	27.8 %	31.6 %	30 %	40 %
固定的性別役割分担意識(-)	固定的性別役割分担意識を肯定する市民の割合	49.8 %	47.7 %	47.2 %	47.2 %	48.8 %	43 %	33 %

<H 事業コスト総額>

分野別事業費		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	決算値 (A)	6,212千円	5,008千円	5,194千円					
	(国・県)	0千円	0千円	0千円					
	(負担金等)	50千円	202千円	55千円					
	(一般財源)	6,162千円	4,806千円	5,139千円					
	人員配置数	2.1人	2.1人	2.1人					
	人件費 (B)	19,387千円	18,589千円	18,024千円					
	総事業費(A+B)	25,599千円	23,597千円	23,218千円					
	対前年比		92.2%	98.4%					

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・市に設置された各種審議会、委員会等への女性委員の登用率が着実に上昇している。目標に向かい着々とその施策を進行させている点では評価に値する。女性委員の登用率が平成22年度で31.6%となり、平成22年度の目標値に達している。
- ・様々なセミナーや事業を行って、大変努力をされている点は評価できる。また、セミナーやフォーラムの集客数が目標に達成しなかった点を、課題としてきちんと挙げて、啓発方法を検討するといった、評価に対する姿勢は評価に値すると考える。



課題・提言

- ・「鎌倉市人権・男女共同参画推進連絡会」で評価し、課題の検討などをしたとあるが、どのような課題が指摘されたのかを明示すべきである。
- ・過渡期の施策分野と考えるが、男女の平等性は結果としての平等ではなく、入り口の平等であるべきではないか。
- ・市民経済部報告では、鎌倉市人権・男女共同参画推進連絡会での検討や、フォーラムやセミナーの開催等の実施は評価されているが、どのような内容について検討したか、行事開催に関しどのような点を評価できるのかといった具体的な内容が挙げられて無く、どの事業がどのような効果を生み出したのかといった具体的な評価を今後、是非行っていただきたい。
- ・DV(家庭内暴力)相談が36件(身体的暴力)と報告されている。言葉の暴力が含まれていないのに、高い水準にあるので、減少に向けた取り組みを継続してほしい。